

キャリアデザイン通信

第1号(保護者向け)

令和7年6月
空知教育局高等学校教育指導班

キャリアプランニング 森田 正文
ス・パ・パ・イザ

新学期がはじまり2か月が立ちました。各学校では、3年生(4年生)の生徒の就職活動を支援する様々な取組が始まっています。4月から7月は、学業はもちろん、学校行事も多く、お子様にとって多忙な時期となりますが、一方で、7月からは求人票の公開も始まります。また公務員志望の場合は、早期の試験対策も必要となります。

本年も企業からの求人は高い倍率で推移していくと思われませんが、必ずしも希望する業種や職種の求人倍率が高いとは限りません。早めの準備を心がけ、お子様が焦ることなく、気持ちに余裕をもって就職活動に臨めるよう、環境づくりをお願いいたします。

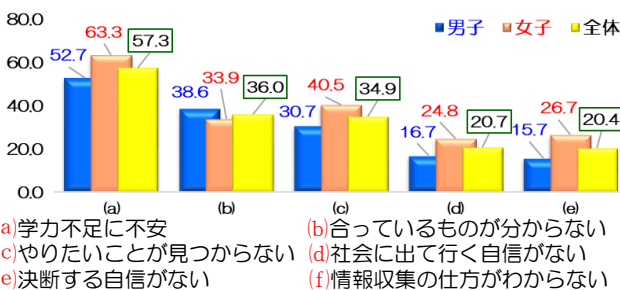
まずはお子様との会話の機会を多くもち、温かく見守ることが大切です。

空知管内令和6年度就職状況と求人倍率

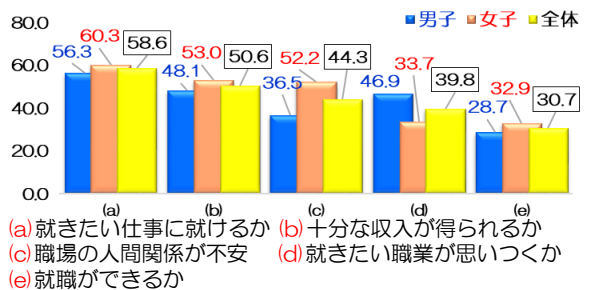
令和6年度 状況	卒業生数		就職希望者 数		就職決定者 数		決定率 (%)		空知管内 求人倍率		北海道内 求人倍率	
		前年差		前年差		前年差		前年差		前年差		前年差
男子	816		237		234		98.7		—		—	
女子	759		155		152		98.1		—		—	
合計	1,575	△12	392	15	386	21	98.5	1.85	3.81	1.0	3.82	±0.0

高校生の気付きと保護者の関わり方

◎進路選択についての高校生の気付き



◎将来働くことについて高校生の気付き



【第11回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2024年報告書】掲載より
一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ合同調査

家族のコミュニケーションは重要

◆保護者は一番のアドバイザー

- 「何がしたいか」も大事ですが、「何ができるのか」を保護者と一緒に考える時間をもつことが大切です。
- お子様に自己理解を促すため、自分の興味・関心、強み・弱みなど、自己理解のヒントを伝えましょう。
- 考えの押しつけは効果がありません。
- 「話す」より「聴く」を意識して、相談役に徹しましょう。
- お子様が自ら気づくことがとても大切です。

【保護者の役割】

- 自立支援(生活的自立、精神的自立、経済的自立)を促す。
- 「手をかける」から「目をかける」
- 保護者の役割3H(褒める、励まし、育む)

【保護者の姿勢】

- 過干渉でも無関心であってもいけない。
- 常に好意的関心を持ち、日常の信頼関係を保つ。
- 職業に対する偏見、認知のゆがみに注意する。

1 Point 【会話術のヒント】



アドバイスが難しくても、親子で一緒に悩み、対話をしながら考えることが大切です。

□子どもの立場にたって共感する。

「そうだね」
「そういう考えもあるね」
「一緒に考えてみるよ」

□次の言葉を引き出す質問をする。

「もし〇〇(あなた)だったら?」
「なぜ?」と聞くより「何がそうさせるの?」と聞く
「いろいろ調べてみたら?」

□主語を「私」にして伝える。

「私(お父さん、お母さん)は、〇〇だと思うな」

就職活動における御相談やお悩みなど、お気軽に電話やメールで御連絡ください。

電話 : 0126-20-0190
Mail : morita.masafumi1@pref.hokkaido.lg.jp
CPVS : 森田 正文